

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/07/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

供給不安と需要不安で乱高下が続く

NY原油先物相場は、1バレル=102.80ドルまで切り返した後、95ドルの節目を割り込む急落と、荒れた展開が続いている。バイデン米大統領の中東訪問で産油国から増産の確約が得られなかったこと、ロシアから欧州向け天然ガス供給の不確実性が高まったことを受けて、週前半は供給不安を背景に底固く推移した。しかし、週後半は改めて需要不安を織り込む動きが優勢になり、一気に95ドルの節目を割り込む荒れた展開になった。米ガソリン在庫の増加、欧州中央銀行（ECB）が0.50%の大幅利上げに踏み切ったことなどが嫌気された。為替はドルが反落したが、原油相場の上値は重かった。

ロシアとドイツを結ぶガスパイプラインを巡って、ロシア側が施設トラブルなどを理由にガス供給に慎重姿勢を示したことが、原油相場も刺激した。「ノルドストリーム1」の定期メンテナンス明け後も十分なガス供給が行われず、欧州エネルギー危機が深刻化するリスクが警戒された。しかし実際には、メンテナンス前後の供給量はほぼ同水準になったことで、供給不安の織り込みは続かなかった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（7月8日時点）は、原油が前週比45万バレル減、ガソリンが350万バレル増、石油精製品が130万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安の織り込み優勢だと、90ドルの節目を巡る攻防に

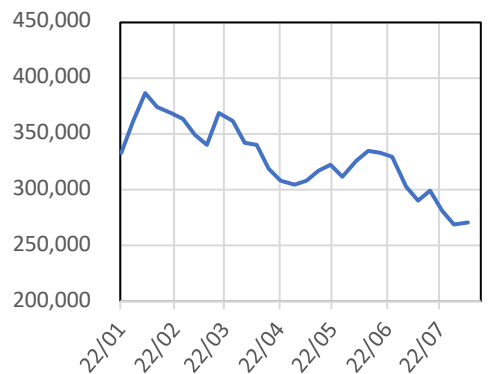
トレンドが定まりづらい不安定な値動きが続くが、需要不安の織り込みが優勢の地合が続くと、90ドルの節目を巡る攻防になる。7月26～27日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では0.75%の大幅利上げが確実視されているが、ここで景気減速への警戒感が蒸し返されると、上値の重い展開になる。また、月末とあって経済指標の発表が集中するため、低調な経済指標の発表が目立った際にも、上値を抑えられよう。

また、前週は米ガソリン在庫の増加が嫌気されているが、更にガソリン在庫の増加が進むと、ガソリン主導で売りが膨らみ易くなる。精製マージンが高水準にあることで原油処理量は安定しているが、価格高騰や景気減速の影響で末端のガソリン需要がやや弱含んでいる可能性がある。ガソリン消費伸び悩みから在庫積み増しの流れが維持されると、上値を圧迫される。

一方、ロシアのガス供給環境は依然として不安定であり、供給不安を意識させるような動きがみられると、原油相場に対しても買いが膨らむ可能性がある。また、8月3日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控えて産油国の動きも活発化するが、増産対応に慎重姿勢が示される、増産余力の欠如が注目されるといった動きがみられると、100ドル台回復を打診する可能性が浮上する。

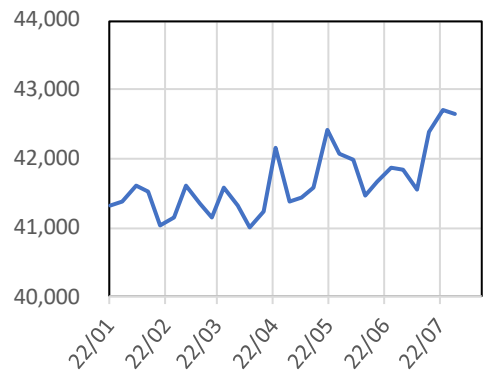
需要不安と供給不安のバランスをどの価格水準でとるのがか打診される地合が続くが、需要不安を背景とした90ドル打診の流れを基本に、改めて供給不安から相場を押し上げるような動きの有無に注目する不安定な地合が続き易い。FOMC後のドル、株価動向にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



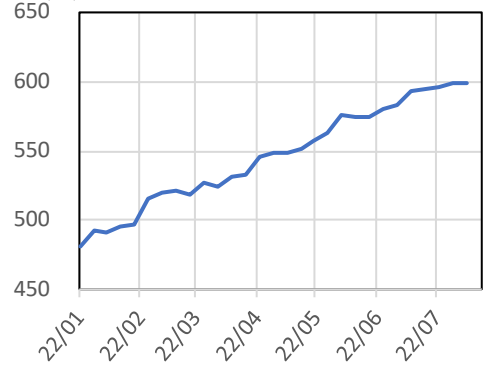
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

